

# アフターコロナの明るい未来づくり

## 1 新型コロナウイルス感染症からの鳥取市復興・再生プランについて（P 2～4）

### 2 方針1「ひとを引き付け、ひとを呼び込むまちづくり」

- ・ 移住定住の取組 （P 5～7）
- ・ 打って出る観光戦略 （P 8～16）

### 3 方針2「稼ぐ力と魅力を高め、ひとが暮らし続けるまちづくり」

- ・ 鳥取駅周辺再生に向けた取り組みについて （P 17～18）

# 新型コロナウイルス感染症からの鳥取市復興・再生プラン

基本的な考え方	復興・再生の方向	
<p>● <b>目的</b></p> <p>コロナ禍の収束後を見据えた、地域経済の立て直しと、コロナ禍を教訓とした新しい社会づくりを進め、全ての市域の均衡ある発展と、住んで良かった、住み続けたいまちとなるための取組を進めます。</p> <p>● <b>プランの位置づけ</b></p> <p>総合計画等の各種計画と整合性を図りながら、コロナからの復興・再生のため当面重点的に取り組む施策の方向を示します。</p>	<p>● <b>復興・再生の方針</b></p> <p>～ 地域経済の立て直しと 将来を見据えた取組 ～</p> <p>復興政策の中心に「ひと」を据え、「ひと」を中心に、コロナ後の持続可能な地域経済の再生と市勢の振興を図り、鳥取市を次の世代にしっかりと引き継ぎます。</p>	<p>● <b>復興・再生に取り組む基本姿勢</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 人々の行動変容や社会変化を的確に取り入れ、まちの力とします。</li> <li>◆ 若年層の希望をかなえ、暮らせるまちをつくります。</li> <li>◆ 少子化に歯止めをかけるとともに、持続可能で包摂的なまちをつくります。</li> </ul>

## 「人」に着目した3つの方針に、6つの施策の方向に沿って、復興・再生を推進

【方針1】ひとを引き付け、 ひとを呼び込むまちづくり	【方針2】稼ぐ力と魅力高め、 ひとが暮らし続けるまちづくり	【方針3】ひとり一人にやさしい、 ひとを大切にするまちづくり
<p>● <b>方向1 地方移住の希望を取り込む</b></p> <p>(視点)地方創生テレワークの推進(転職なき移住) やサテライトオフィス、ワーケーションの推進、子育て世代の移住の重点支援、関係人口の創出拡大 等</p> <p>(参考)商業とサービス業等の振興、ふるさと・田舎帰りの推進</p> <p>● <b>方向2 観光・インバウンドの再生</b></p> <p>(視点)鳥取砂丘の再生、観光資源の磨き上げやコンテンツ造成、エコツーリズム・ジオツーリズム、多言語化、無料wifi、キャッシュレス決済、混雑対策 等</p> <p>(参考)滞在型観光の推進</p>	<p>● <b>方向1 経済・雇用の好循環の加速・拡大</b></p> <p>(視点)再生可能エネルギーの開発と地産地消、新分野への事業展開、円滑な労働移動、若年層の就職ニーズに合った雇用創出、多様な主体の労働参画、労働生産性の向上、人材育成 農林水産業のスマート化や担い手確保、鳥獣対策、適正な森林管理と経営体、木材利用、漁業資源管理 等</p> <p>(参考)持続可能な経済成長の実現、工業の振興、商業とサービス業等の振興、農林水産業の成長産業化</p> <p>● <b>方向2 まちの価値と魅力を高める</b></p> <p>(視点)防災減災、国土強靱化、駅周辺の賑わい創出、南北線対応、自動運転やMaaS、光ファイバや5G、コンパクトシティ、歴史や景観、日本遺産など歴史や文化資源の魅力向上・発信強化、小さな拠点 等</p> <p>(参考)地域防災力の向上、シティセールスの推進、文化芸術によるまちづくりの推進、文化財の保存・整備による「まちづくり」資産の形成、生活基盤の充実、中心市街地の活性化、魅力ある中山間地域の振興、交通ネットワークの充実、地域情報化の推進、循環型社会の形成</p>	<p>● <b>方向1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる</b></p> <p>(視点)総合的な少子化対策、結婚支援、不妊治療、出産費用支援、産後ケア充実、女性活躍、仕事と家庭の両立、保育や地域での子育て相互援助、多様な子育てサービス、GIGAスクール、コミュニティ・スクール 等</p> <p>(参考)結婚・妊娠・出産への支援、結婚・出産・子育て支援、教育の充実・郷土愛の醸成、生涯学習の推進、男女共同参画社会の形成</p> <p>● <b>方向2 誰一人取り残さない包摂のまちづくり</b></p> <p>(視点)孤独・孤立・生活困窮等への支援、居場所、重層的支援、健康寿命の延伸 等</p> <p>(参考)協働のまちづくりの推進、地域福祉のまちづくりの推進、超高齢社会に向けたまちづくりの推進、多文化共生のまちづくりの推進、健康づくり・疾病予防・介護予防の推進、スポーツ・レクリエーションの振興</p>

復興政策推進の視点

SDGs デジタル化の加速 グリーン社会の実現 危機対応力の強化  
協働 広域連携

「アフターコロナ・ウイズコロナ」の社会においては、人と人とのつながりを大事にする『人を大切にするまち、鳥取市』を合言葉に、将来を見据え、住んでよかった、住み続けたいまちとなるための取り組みを、みんなで力を合わせて進めていきましょう。

## 新型コロナウイルス感染症からの鳥取市復興・再生プラン -Vol.2-

～ みんなでひらこう 明るい未来 ～

「明るい未来プラン」です！



### ひとを引き付け、 ひとを呼び込むまちづくり

移住 働く 交流 魅力発信 故郷

コロナ禍で、都会での生活よりも、自然に囲まれた地方での生活に魅力を感じる人が増えています。多くの人に鳥取市を知っていただき、移住につなげ、さらに鳥取市に帰ってくる若者を増やします。

#### ●「とっとりし」に移り住もう、帰ろう

(主な取組)

- 鳥取砂丘など観光しながら仕事もできる場所づくり
- とっとりしはワーケーションの適地です！魅力ある仕事環境をアピール
- 都市部等からのオフィス移転など、企業の地方分散の流れを取り込む
- 交流人口や関係人口でとっとりしファンを増やし、若者など多くの世代に選ばれるまちへ
- 都市部等の子育て世代と若者の心をつかむ！とっとり暮らし情報をお届け
- ととりの魅力をインターネットで広めよう
- 移住データ分析で、まちの魅力向上大作戦 など



[👉次頁へ]

### 稼ぐ力と魅力を高め、 ひとが暮らし続けるまちづくり

働く 暮らす 遊ぶ 安全・安心 故郷

若者はまちの活力の源です。都会ではなく、鳥取市での生活を選ぶ若者を増やし、若者の定着に取り組むとともに、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。

#### ●「とっとりし」で働こう

(主な取組)

- デジタル商品券の発行など、便利なキャッシュレス決済の普及を推進
- 地元企業の認知度アップなど、若者の地元就職を促進
- 地球にやさしいエネルギー利用と省エネ普及で、地元企業の成長支援
- 脱炭素先進地域づくり戦略で新たなビジネス機会を創出
- 田んぼの中での微生物発電など、「SDGs未来都市プロジェクト」を推進
- 新しい仕事にチャレンジ！働く人の仕事の学びを応援
- 生涯現役！元気高齢者や外国人材の活躍で企業の成長支援
- インターネットショップを活用し、市内事業者の販売促進やブランド力を向上
- デジタル技術で農山村地域などの荷物の配達をサポート
- 事業再構築やデジタル化で、企業の新たな成長戦略を支援
- 6次化と商工業との連携で、もうかる農業を推進
- 生産から消費までの農産物の物流DXを推進
- デジタル鳥獣被害対策で、農家や狩猟者の負担を軽減
- デジタル木材市場で新たな販路を拡大
- スマート技術で実現！魅力的で成長する農林水産業の推進
- 研修支援や農業と他の仕事を組合せた働き方などで、農林水産業の新たな担い手確保を推進
- 世界の貨物が行き交うミナト「鳥取港」へ など



[👉次頁へ]

### ひとり一人にやさしい、 ひとを大切にするまちづくり

結婚 出産 子育て 教育 健康 福祉

子どもは地域の宝です。結婚や子育てに夢や希望が持てるまち、子どもたちでにぎわうまち、そして、みんなで支え合い、助け合う、ひとを大切にするまちづくりを進めます。

#### ●夢や希望をかなえよう

(主な取組)

- 結婚の希望をかなえるお手伝い
- スマホで簡単！電子母子手帳やテレビ電話相談等の便利な子育て支援サービスを新展開
- 保健師等の切れ目のない妊娠・出産・子育て支援で、あんしん子育てNo. 1のまち
- 訪問型産後ケアの新展開など、母子の心と体の健康保持を支援
- 産後ケア施設の充実で、安心子育て支援
- 保護者の希望にこたえる！放課後児童クラブやファミサポなど保育サービスの充実で、あんしん子育てのまちへ
- 仕事・家事・自分時間の調和した生活ができるまちへ
- 外国人講師とオンラインでこんにちは！児童生徒のコミュニケーション能力を育成
- 定期テストの自動採点など教職員の働き方改革で、教育活動の充実を推進
- オンライン学習の充実など、児童生徒の夢や希望をかなえる学びを応援
- 子どもたちへの舞台芸術の体験機会の提供で、心豊かなひとづくり
- 郷土を愛し、豊かな心を育む、児童生徒の体験・交流活動を推進
- 地域運営型の合同部活動を推進し、児童生徒が選べる部活動に など



[👉次頁へ]

## ひとを引き付け、 ひとを呼び込むまちづくり

## 稼ぐ力と魅力を高め、 ひとが暮らし続けるまちづくり

## ひとり一人にやさしい、 ひとを大切にすまちづくり

### ●「とっとりし」に行こう、楽しもう

(主な取組)

- 防災情報の多言語配信などで、外国人にもあんしんなまち
- 新たな旅のスタイルに対応した観光・宿泊施設の充実
- 旅行会社と連携した魅力ある旅行プランづくり
- 柳茶屋キャンプ場など砂丘西側エリアの再生



- 多鯉ヶ池周辺のツーリズム環境の充実
- 鳥取城跡周辺に観光客を呼び込み新たなにぎわいづくり
- 山陰海岸ジオパークエリアの観光地域づくり法人などが連携した新たな観光周遊ルートづくり
- 大阪・関西万博を見据え、外国人観光客が訪れたい情報発信と観光メニューづくり
- 「世界発-鳥取行き」鳥取砂丘コナン空港の国際線化
- ようこそ、ようこそ クルーズ客船誘致でまちの活性化
- 好きなタイミング、好きな場所で、好きな時間利用できる自転車でまちなかへお出かけ！
- 麒麟のまちの企業や暮らしの魅力を学生に発信
- 若者が集まるまちへ、都市魅力度アップ作戦 など



### ●「とっとりし」で暮らそう

(主な取組)

- 市内どこでも「ピカッと光」で超高速インターネット利用
- 山陰新幹線を実現させ、関西圏をより身近な生活圏に
- 南北線を早期に完成させ、より早く快適で便利な高速道路を
- 夢の無人自動運転がつくる未来型生活交通システムを推進
- “ピッ!” キャッシュレスで楽ちん・便利な公共交通
- 地域で支える共助交通で、誰でも気軽におでかけ
- 「ちょっと東京まで」を叶える交通アクセスの充実
- 市役所旧本庁舎跡地を人が集まる憩いの場に
- 歩いて楽しむ！鉄道公園周辺をにぎわいの場へ
- 便利で快適、歩いて楽しめるまちなか暮らしを推進
- いつまでも暮らせる農山村の「小さな拠点づくり」
- 都市部から農村へ人を呼び込み村おこし
- 伝統工芸産業の活性化や人材確保で、農山村のにぎわいづくり
- 文化芸術や歴史の風薫るまちづくり
- 地元芸術家が学校で出前授業！未来の文化芸術の担い手づくり
- 防災・減災や国土強靱化で、災害に強いまちづくり
- デジタル監視で除雪をスピードアップ！雪みちをスムーズに移動
- あらゆる分野で脱炭素に取り組み2050年ゼロカーボンシティの実現へ
- コロナに負けない！市民スポーツの活動を支援
- 生涯学習などのデジタル化で、便利な学びのサービスを提供 など



### ●「誰にもやさしいまちにしよう

(主な取組)

- 福祉まるごと相談員の配置など、相談機関の「つながりの力」で市民の困り事を解決！
- ひとりぼっちをつくらない、全国初！「社会的孤立防止サポーター」を地域に養成
- 誰にも出番がある！「役割・出番づくり」で地域の孤立を防止
- 「すごい！地域食堂」を拠点に、市民参加の困り事解決の仕組みづくり
- 地域で高める福祉力！「話し愛・支え愛」の推進
- 生活に困難を抱える子どもの居場所づくりを推進
- ヤングケアラー支援員の配置など、子どもの夢や希望の実現を後押し！
- 女性が心と体の悩みを自由に話せる居場所を開設



- スマホへプッシュ配信！防災アプリで聴覚障がい者や若年層にあんしん提供
- 障がいのある人の活動・交流拠点を身近な地域に充実させ、地域交流を推進
- 身近な地域に認知症相談支援センターを新設！認知症の相談支援を充実
- 画面から笑顔があふれる！オンライン認知症カフェを展開
- デジタル介護認定審査で介護サービス利用開始をスピードアップ！
- スマホで簡単！どこでも気軽にオンライン保健指導で、市民の健康をサポート
- 医療・福祉専門職が市民の集いの場で健康指導「ストップ！フレイル作戦」
- デジタルで地域医療をサポート！オンライン予約やオンライン診療サービス
- 市民の生命（いのち）と生活（くらし）を守る感染症対策など

# 移住定住の取組（地域振興課）

## これまでの取組状況【令和5年3月末現在】

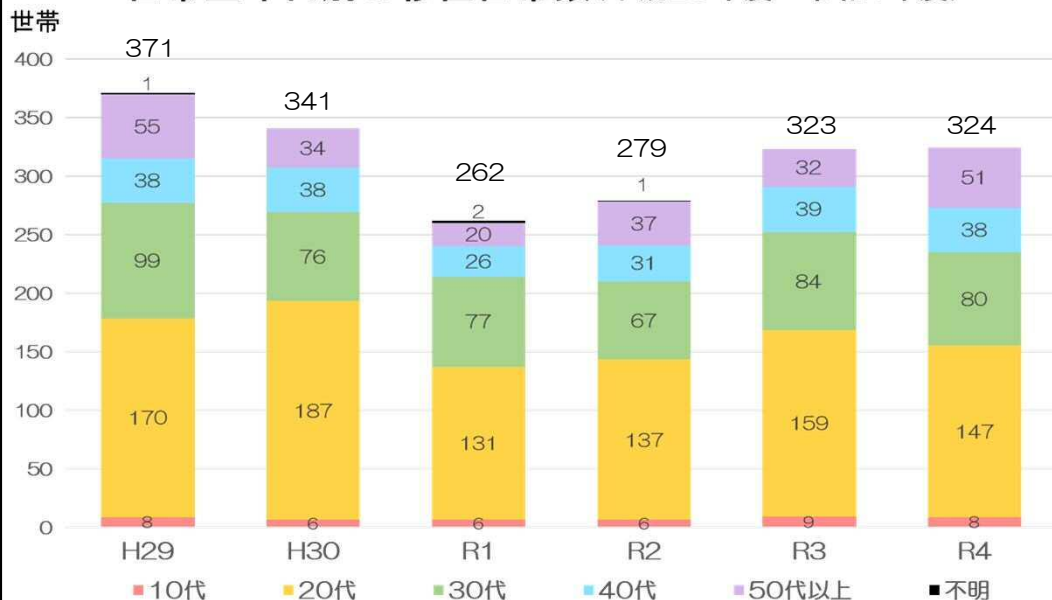
年度	H18~H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
窓口対応延べ件数(件)	12,784	1,109	920	1,119	899	1,016	1,065	18,912
相談登録者数(世帯)	3,715	515	389	449	223	168	287	5,746
移住者数	(世帯)	1,092	371	341	262	279	323	2,992
	(人)	2,117	487	464	359	389	462	4,736

### ＜移住に係る近年の主な事象や取組について＞

- ・ R元年度末～ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大
- ・ 令和2年8月下旬 鳥取市オンライン移住相談窓口開設
- ・ 令和4年4月8日 鳥取市移住定住ポータルサイト（とっとりコネクト）開設

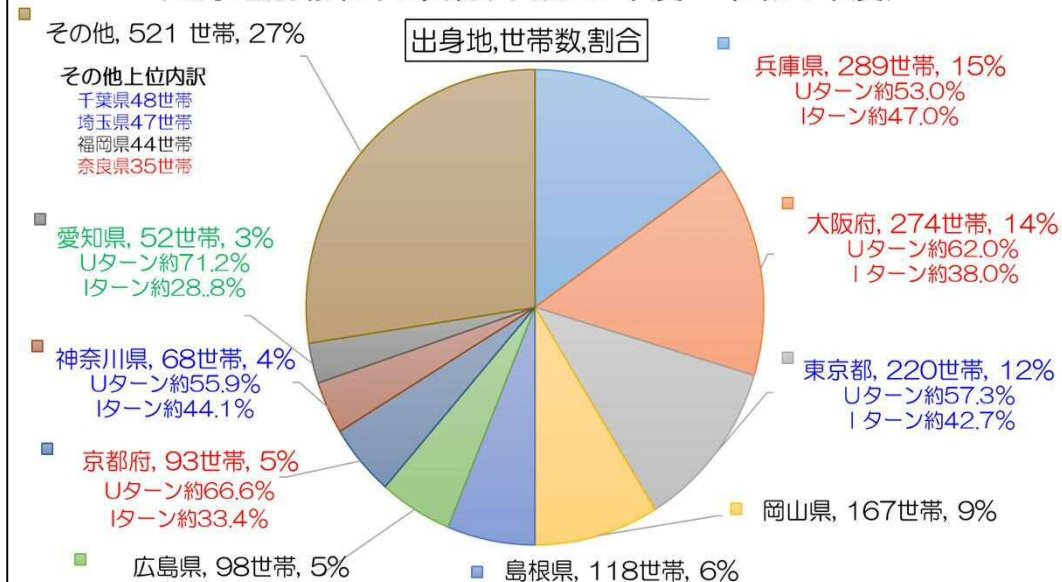
R元年度・2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、R3年度・4年度は持ち直しに成功。（※移住の多くは年度末・始めに行われる）

世帯主年代別の移住世帯数(平成29年度～令和4年度)



・世帯主が20代～30代の若者・子育て世代が多い傾向。

出身地別移住世帯数(平成29年度～令和4年度)



- ・ 関西圏からの移住が約34%を占める。
- ・ 全体ではUターン約53%、Iターン約47%。

# 移住定住の取組（地域振興課）

とっとりつながる  
とっとり  
コネクト

## ・移住定住専用ポータルサイトやSNSの活用による情報発信

ポータルサイトは開設以降、訪問者数の増加傾向が継続しており、本市の情報発信媒体として順調に成長中。



鳥取市移住定住ポータルサイト



ポータルサイト訪問数の変化 **+180%**  
 令和4年4月8日～令和4年6月30日 2,393ユーザー  
 令和5年4月1日～令和5年6月30日 6,709ユーザー



地域振興課公式Twitter

## ・移住者に対する支援金

①鳥取市ふるさとでの新しいライフステージ支援事業補助金（令和5年度予算 2,200千円）

県外から移住した満39歳以下の若者夫婦・子育て世帯等に対し、支援金を交付。  
 （世帯の状況に応じて、5万円または10万円。）

R5拡充

②鳥取市ふるさと移住支援金（令和5年度予算 10,800千円）

東京圏から鳥取市へ移住し、テレワークで移住前の仕事を継続する者や、対象地元企業に新規就業した者、県の支援事業により起業する者などに対し、移住支援金を交付。  
 （単身60万円、2人以上世帯100万円。）

※18歳未満の者を帯同して移住した場合、18歳未満の者1人あたり100万円を加算。）

# 移住定住の取組（地域振興課）

とっとりつながる  
とっとり  
コネクト

## R5拡充

- 大都市圏での対面による移住相談会への積極的な参加  
（令和5年度 東京・大阪 計8回出展予定 ※令和4年度 計6回）

直近参加イベント：7月 おいでや！田舎暮らしフェア2023 大阪  
8月 住む・働く・鳥取県移住フェア 東京  
9月 ふるさといなか回帰フェア 東京  
10月 中国四国もうひとつのふるさと探しフェア 大阪



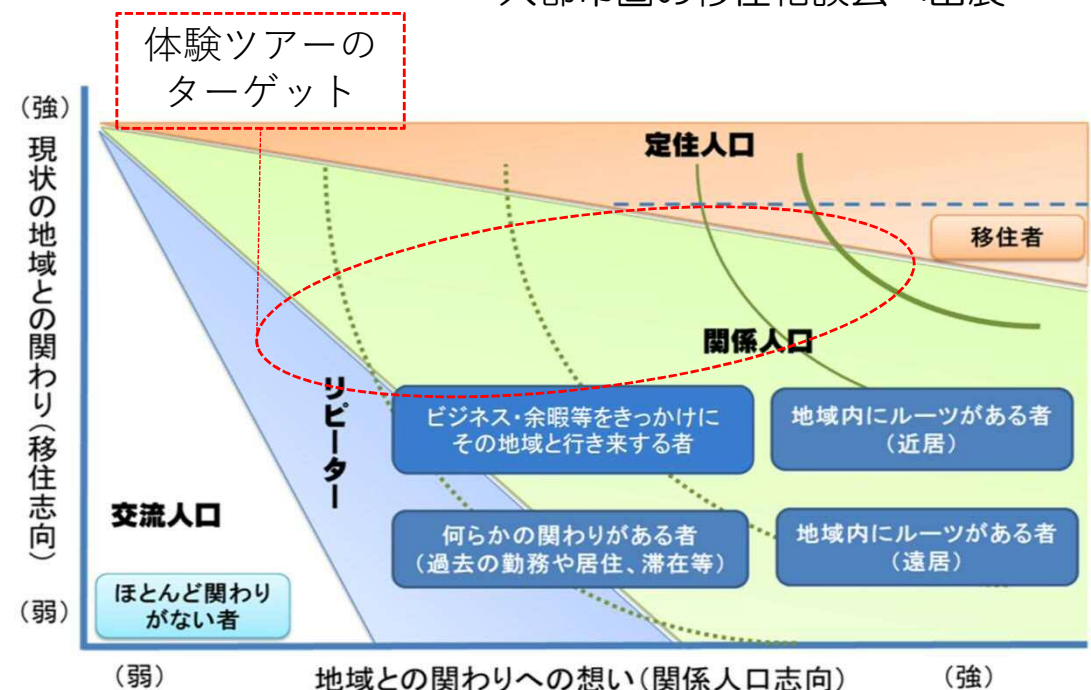
大都市圏の移住相談会へ出展

## R6検討中

- PUSH型の移住促進施策の展開  
田舎暮らしに憧れる移住希望者への訴求や、関係人口創出に向けて、地域団体等と連携した移住体験ツアーの実施を検討中。



体験ツアーイメージ図







## (2) アフターコロナの明るい未来づくり

### ○ひとを引き付け、人を呼び込むまちづくり

#### ・打って出る観光戦略

- 1 鳥取砂丘の再生に向けた取組について
  - ・鳥取砂丘西側市有地活用促進事業  
(リゾートホテル誘致) について
  - ・鳥取砂丘キャンプ場（仮称）運営事業について
  - ・山陰海岸国立公園鳥取砂丘フィールドハウスの開館について
  - ・砂の美術館第 15 期展示について <後日追加>
- 2 まちなか観光の推進について
- 3 観光 DX の推進について

#### 【参考 1】 近年の鳥取砂丘の観光入込客数の状況

	令和元年（コロナ前）	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
鳥 取 砂 丘	1,164,887 人	575,541 人	600,258 人	929,020 人
砂 の 美 術 館	496,574 人	166,510 人	182,160 人	194,530 人
合 計	1,661,461 人	742,051 人	782,418 人	1,123,550 人
備 考	■令和 4 年／令和元年（コロナ前）： 67.6%（鳥取砂丘のみ：79.8%） ■令和 4 年／令和 3 年： 143.6%			

## 鳥取砂丘西側市有地活用促進事業（リゾートホテル誘致）

本市が鳥取砂丘西側に誘致を進めているリゾートホテルについては、本年1月に環境省の国立公園事業の執行認可、2月に建築確認済証の交付、3月に土地に関する代金の全額納付と引渡しが行われるなど、着実な進展が図られているところですが、現在の進捗状況は以下のとおりです。

### 1. 事業の経過について

令和2年2月 基本協定の締結（相手方：（株）d h p都市開発）

令和3年1月 基本協定の一部変更

ホテル開業時期	旧：令和5年1月1日（令和4年11月開業予定） 新：令和7年1月1日 （令和7年4月開催予定の大阪・関西万博を見据え再設定）
---------	--

令和5年1月 環境省の国立公園事業執行認可

令和5年2月 建築確認済証の交付

令和5年3月 土地代金等の全額納付、土地の所有権移転

特定目的会社「合同会社鳥取砂丘リゾート開発」の設立

### 2. ホテルブランドについて

本年3月、最終の候補となるホテルブランド側から関心表明書が提出され、6月にホテル事業者とブランド側との間で基本合意書が締結されたところです。

現在、ホテル事業者とブランド側との本契約の締結に向けた手続き等が進んでおり、ブランドの決定・発表はこの本契約の締結後となる見込みです。

本契約の締結までには、フランチャイズ契約の手続きなどに数カ月を要するため、着工の具体的な時期は本契約締結時点で明らかになる予定です。

### 3. 開業時期について

現在、基本協定に定める令和7年1月1日までの開業については、事業者が計画する22ヶ月の工期を想定すると難しい状況となっています。

この背景には、ウクライナ情勢に伴う建築資材の高騰による総事業費の増加とこれに関連したインテリアデザイン、客室単価の調整に係るブランド側との交渉に時間を要していることが関係しています。

当面はブランド側との本契約の締結を優先的に進め、開業の目途を立てた上で、着工及び開業時期を明らかにしていくこととします。

### 4. ホテルイメージパース

別紙のとおり

- |                                   |
|-----------------------------------|
| ■敷地面積：18,263㎡                     |
| ■建物面積：約5,158㎡                     |
| ■延床面積：約14,328㎡                    |
| ■構造：鉄骨造 地上3階・地下1階建                |
| ■客室数：116室（北棟60室、南棟56室） ※面積：1室約50㎡ |



※北棟中央部の水盤と丸く空いた穴の部分は「(仮称) 星取テラス」とし、星を見るスペース



## 鳥取砂丘キャンプ場（仮称）運営事業

鳥取県及び鳥取市が鳥取砂丘西側エリアに所有する3施設（サイクリングターミナル、柳茶屋キャンプ場、こどもの国キャンプ場）を一体的に活用し、キャンプやグランピングを中心とした民間サービスを提供する事業について、公募型プロポーザルにより決定した下記の事業者及び鳥取県と本年7月に基本協定を締結しました。  
今後、県、市、事業者の3者が連携し、令和6年4月の施設開業を目指します。

### 1 経過

- 令和4年12月：再公募
- 令和5年2月末：再公募締め切り。県内・県外の事業者計2社で構成されるグループ「ヤマタ鳥取砂丘ステーション」が応募
- 令和5年3月：資格要件審査、財務等基礎審査
- 令和5年4月：プレゼンテーション提案審査
- 令和5年5月：優先交渉権者決定・公表
- 令和5年6月：財産の無償貸付議案を県議会及び市議会へ附議  
同議案が県議会で原案可決（6/30）
- 令和5年7月：同議案が市議会で原案可決（7/4）  
基本協定及び無償貸付契約を締結（7/21）
- 令和5年8月：施設等の引渡し（8/1） ※サイクリングターミナルは市が改修後、引渡し

### 2 事業者

株式会社ヤマタ鳥取砂丘ステーション（鳥取市千代水二丁目130番地）  
※本事業を実施することのみを目的とし、令和5年5月23日設立された新会社。

### 3 事業内容

#### <事業のコンセプト>

「ヤマタ鳥取ステーション～鳥取砂丘滞在のハブとなる自然体験型宿泊施設～」

3施設を一体的に活用しながら、鳥取観光のハブとしての機能を果たし、鳥取へのインバウンドを含む賑わい作りに貢献すると共に、施設全体として経営的に安定した運営を目指す。

#### <各エリアの事業内容>

現施設名	リニューアル後	イメージ
サイクリングターミナル	鳥取砂丘ゲストハウス（兼管理棟）GUEST HOUSE「砂縁」～saen～（縁と出会う）鳥取のフロント	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1Fはキャンプ場とグランピングの管理棟を兼ねて効率的な運営を実施（受付、食堂、売店、レンタル用品コーナー、研修室）</li> <li>・2Fは廉価な宿泊施設として運営</li> </ul>
柳茶屋キャンプ場	鳥取砂丘フリーサイトキャンプ CAMP VILLAGE「砂育」～saiku～（自然と育む）自然との共生を体験	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を傷めず、従来と大きな変更のない運営を計画</li> <li>・最低限の維持費を徴収する低価格なキャンプ場として従来通り美しいクロマツの林を残す形で運営</li> </ul>
こどもの国キャンプ場	鳥取砂丘グランピング GLAMP DOME「砂優」～sayu～（自然と触れる）森の中で優雅に自然を体験	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーシャンビューのドームテント6棟（全室トイレ、エアコン付き）を整備</li> <li>・既存のトイレ・シャワー室は清潔感のあるシャワーブースへ改修</li> </ul>

### 4 今後の予定

令和6年4月 施設開業

## 山陰海岸国立公園鳥取砂丘フィールドハウスの開館

鳥取砂丘西側の玄関口として、鳥取砂丘ビジターセンターの分館となる「山陰海岸国立公園鳥取砂丘フィールドハウス（2施設一体の名称）」が完成し、令和5年4月22日（土）、鳥取市浜坂に開館しました。

同施設では、砂丘ガイドツアーや砂丘内で実施される環境教育の支援、ボランティア活動等の野外活動を支援する機能、砂丘の歴史・文化に関する展示ギャラリーを有するほか、砂丘周辺の見どころ案内等を行い、鳥取砂丘の更なる魅力向上や利用者の満足度向上等につなげます。

### 1. 施設概要

オアシス館（鳥取県が既存休憩施設をリニューアル）

風紋館（環境省が新規設置）

駐車場 15台（うち車いす使用者用1台）

利用状況 15,253人（6月末現在）



オアシス館	風紋館
<p>美しい映像で砂丘を紹介する大型モニターや見やすく分かりやすい大型マップ等で、観光客及びトイレや休憩に立ち寄った利用者にくつろいでいただきながら、砂丘の魅力を紹介します。</p> <p>○ 構造：木造1階建、建築面積 126.00㎡、延床面積 126.00㎡</p> <p>○ 設備等：休憩スペース、トイレ、飲料自動販売機、大型のモニターやマップ等による砂丘周辺の自然・施設・アクティビティ等の紹介</p> <p>○ 総事業費：72百万円</p>	<p>砂丘西側利用者の砂丘への玄関口として、主に砂丘散策やガイドツアー及びイベントボランティア活動等の参加者を対象とし、事前の情報提供や解説等を行います。</p> <p>○ 構造：木造1階建、建築面積 164.00㎡、延床面積 126.40㎡（鳥取県産材を使用）</p> <p>○ 設備等：レクチャールーム（50人程度収容）、砂丘の風景等を視聴できるタブレット、ジオラマ、散策モデルコースの紹介、足洗い場、熱中症等対応救護コーナー</p> <p>○ 総事業費：160百万円</p>
<p>Interior view of the Oasissan building. It features a large wall-mounted monitor displaying a landscape image, surrounded by various informational maps and displays. The space is bright and modern.</p>	<p>Interior view of the Kaminari building. It shows a long, light-colored wooden table with several chairs arranged around it. Large windows provide a view of the outdoors. There are tablets and informational materials on the table.</p>

### 2. 管理運営体制

- ・ 東側ビジターセンターの分館の機能を持たせた一体的な施設として、環境省、鳥取県、鳥取市の三者で設立する山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター管理運営協議会が運営します。
- ・ 風紋館にビジターセンターの職員が常駐し利用者への情報提供等を行います。



## まちなか観光推進事業

### <事業概要>

復元整備が進む史跡鳥取城跡周辺の観光振興を図るため、城跡のライトアップや賑わいマルシェの開催のほか、三階櫓 AR コンテンツの制作、さらには一部商店街エリアを舞台にした新たな灯りの演出を実証事業（予定）として実施し、賑わい創出と滞在型観光の推進を図ります。

### ■実施事業

#### (1) 鳥取城跡のライトアップ（観光・ジオパーク推進課）

昨年に引き続き、まちなかの夜間コンテンツとして、週末を中心に城跡のライトアップを実施し、観光スポットとしての魅力向上、滞在型観光の推進を図る。

◆実施期間：令和5年7月22日（土）～11月26日（日）の金土日及び祝日とその前日、お盆（8/14.15）

計64日間（昨年18日間） ※袋川沿いは期間中、毎日点灯します。

◆場 所：鳥取城跡内の石垣（山上ノ丸除く）、袋川沿い植栽（各橋の欄干等は除く）

◆監 修：(株)LEM空間工房 代表取締役 長町志穂 氏

#### (2) 鳥取城跡賑わいマルシェの開催（観光・ジオパーク推進課）

鳥取城跡で定期的に賑わいイベント（7月～10月は城跡ライトアップに合わせてナイトマルシェ）を開催することにより、賑わい創出と誘客促進を図ります。

◆名 称：鳥取城跡ときめきマルシェ

◆開 催 日：日中）5/6, 5/27, 6/10, 9/23 いずれも11:00～16:00

夜間）7/22, 8/12, 9/2, 10/14 いずれも12:00～20:00

◆場 所：久松公園内



#### (3) 夜間景観形成まちなか実証事業（企画検討中）（観光・ジオパーク推進課）

まちなか周遊の促進を図るため、一部商店街を舞台にした新たな灯りの演出を実証事業として行う予定です。

◆実施期間：令和5年秋頃

◆場 所：商店街エリア（一部）

◆内 容：シャッターへの演出など

#### (4) 三階櫓ARコンテンツ制作事業（観光・ジオパーク推進課）

鳥取城の三階櫓をAR技術で再現し、復元整備に対する機運醸成と、城跡を訪れる観光客に楽しんでいただける環境を整えることで誘客促進と知名度向上を図ります。

◆公開開始：9月24日（日）の「鳥取32万石お城まつり」で公開

◆内 容：大阪大学と連携しARの作成及びコンテンツの企画について共同研究を行います。

（三階櫓のAR制作、案内ガイド機能の開発等）

#### (5) 鳥取城跡内フリーWi-Fi環境維持（観光・ジオパーク推進課）

昨年整備した城跡周辺エリアのWi-Fi環境の維持管理を行い、受入環境の充実を図ります。

【使用可能エリア】

①宝珠橋～擬宝珠橋間のお堀端沿い

②久松公園・仁風閣一带

③二ノ丸一带周辺

## ＜その他、まちなかの賑わい創出の取組＞

### (6) AR等を活用した鳥取市中心市街地周遊促進事業（まちなか未来創造課）

AR等の新技術を活用し、新しいまち歩きの方法を提供することで、中心市街地での回遊・滞在性の向上を促進し、商店街への経済効果を生み出す。

◆公開開始：11月1日（水）予定

◆内 容：中心市街地内の主要な場所にARコンテンツを出現させ、それぞれを周遊するスタンプラリーを実施する

◆場 所：鳥取駅周辺、鳥取城跡周辺など

### (7) バード・ハットライトアップ整備事業（まちなか未来創造課）

バード・ハット竣工10周年を記念し、既存設備に新たに音と光の演出を加えることで人が集まる魅力的な空間を創出し、中心市街地全体への回遊性・滞在性の向上、賑わいの創出を図る。

◆運用開始：令和5年11月末頃

◆場 所：バード・ハット

### (8) 鳥取駅周辺憩いのある賑わい空間創出実証事業（まちなか未来創造課）

鳥取駅北口のケヤキ広場周辺のオープンスペース等を活用し、人が集まり交流できる賑わい空間創出実証事業を実施することで市民等のニーズを把握し、憩いのある賑わい空間の創出を図る。

◆事業実施：9月～11月

◆内 容：シャミネ鳥取や駅構内の店舗と連携し、ケヤキ広場やJR用地等にテーブルとイスを設置することで、憩いの空間を来街者に提供する。

◆場 所：鳥取駅北口のケヤキ広場周辺

### (9) 旧本庁舎跡地にぎわい創出事業（政策企画課）

旧本庁舎跡地において概ね毎月1回のイベントを実施することで、中心市街地のにぎわいを創出するとともに、今後旧本庁舎跡地に整備する緑地広場やイベント広場等の「オープンスペース」の効果的な活用につなげる。

◆事業実施：7月～1月

◆内 容：飲食・物販や、ベンチづくりなどの体験型ワークショップに加え、商店街スタンプラリーなどを実施し、中心市街地の滞在性・周遊性の向上、賑わいの創出を図る。

◆場 所：旧本庁舎跡地



## 観光DXの推進

麒麟のまち圏域の1市6町が連携し、DMO 麒麟のまち観光局を主体に観光DXの推進を図るプラットフォームを構築することで、確かなデータに基づいた戦略的な観光マーケティングを進めます。

### ■導入するシステム及び事業概要

#### (1) 宿泊データ分析システム

宿泊施設が保有する宿泊者情報のデータを収集し、圏域全体で季節ごとの傾向や、どのような観光客が訪れているのかなど各種のデータ分析が可能となります。

【収集データ】居住地、性別、年齢、泊数、宿泊金額など

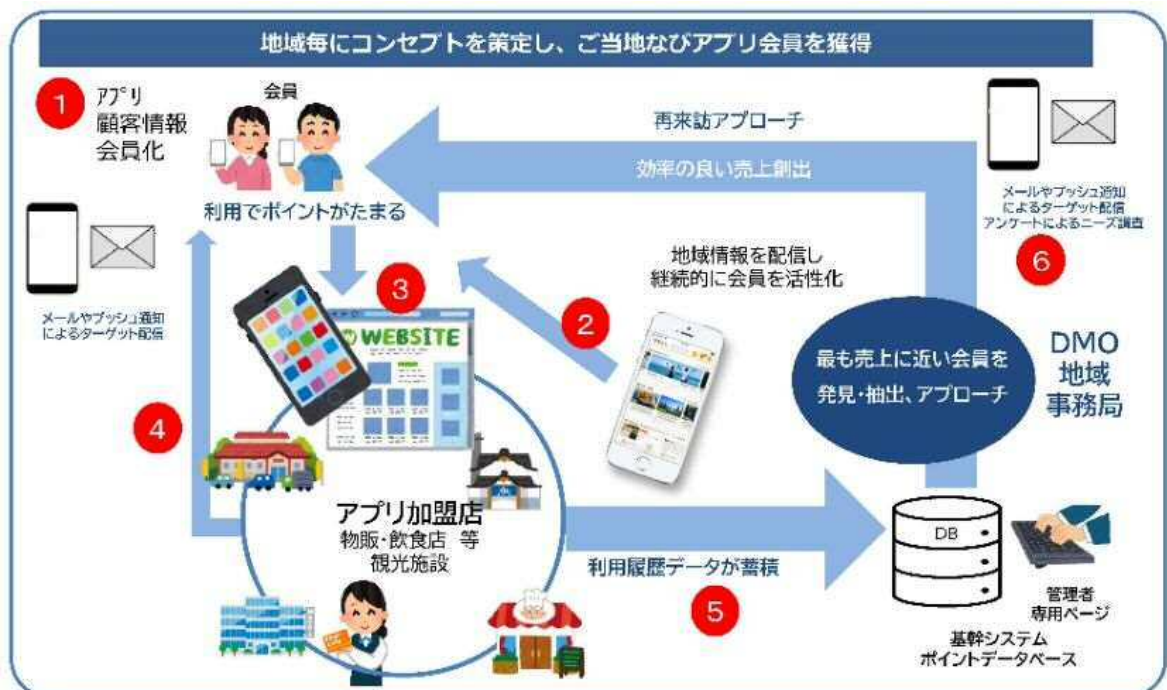


#### (2) 観光CRMシステム

システムを通じて会員を募り圏域のファンづくりを進めるとともに、会員に向けてイベント情報やお得なキャンペーン情報等を直接届けることで、効率的な誘客及び販売促進が可能となります。また、会員（顧客）情報の取得ができることから観光地での消費実態等を把握することができます。

【会員側機能】会員登録機能、会員証機能、観光ナビゲーション機能、情報受信機能

【DMO・加盟店側機能】情報発信機能、顧客データ管理機能、GPSデータ活用機能など



#### (3) プロモーション

新規会員獲得に向けた独自キャンペーン等の実施

#### (4) その他

店舗向けの参加説明会、システム操作説明会の開催、伴奏支援、クーポン企画の設定、保守管理



鳥取市政懇話会資料	
令和5年8月9日	
担当課	まちなか未来創造課

## 鳥取駅周辺再生に向けた取り組みについて

### 1. 中心市街地の現状

郊外部への商業・業務機能の立地の進展に加えて、人口減少、高齢化の進展、商業機能の減少が悪循環に陥り、**活力が大幅に減少し続けている**。



平成19年11月30日に「鳥取市中心市街地活性化基本計画」が認定されて以降、官民連携のもと様々な取組が進められてきたが、**中心市街地の衰退に歯止めがかからない**状況が続いている。

項目	平成19年度	令和5年度
中心市街地人口	12,268人	12,094人
高齢化率	27.2%	31.2%
空き店舗数	51店舗	68店舗
公示地価（栄町）	26万9千円/m <sup>2</sup>	12万1千円/m <sup>2</sup>

### 2. 中心市街地の課題

#### ■ 郊外部にはない魅力の向上

上質な都市空間の整備、商業機能の再編、文化芸術拠点の整備等により、中心市街地の求心力を高めること。

#### ■ 中心市街地へのアクセス向上

公共交通の利便性向上などを図ること。

### 3. 課題解決に向けた取組方針

中心市街地活性化を実現するためには、先ずはその拠点となる「鳥取駅周辺」を山陰東部圏域のメインゲートとして相応しい、特別かつ魅力的な場所に生まれ変わらせ、賑わい創出やエリア価値の向上、民間投資の促進に繋げていくことが重要です。

#### 【取組方針】

官民連携で駅周辺整備の「ビジョン」を共有し、「実現に向けた具体的な取組施策を設定、実施していきます。

① **具体的な再生プラン「鳥取駅周辺再生基本計画」（市民がワクワクドキドキするような、明るい未来を想像できるプラン）を策定**

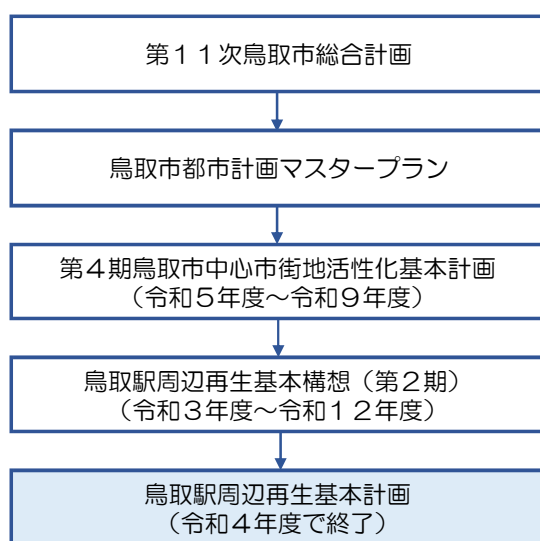
※既存の鳥取駅周辺再生基本計画（後期）：平成30年4月～令和5年3月）

② 中心市街地活性化を強力に推進していくため、**庁内の検討体制と、官民連携による検討体制を新たに整備**

## 本市の関連計画における駅周辺の位置付け

本市の関連計画において、駅周辺は次のように位置付けられています。

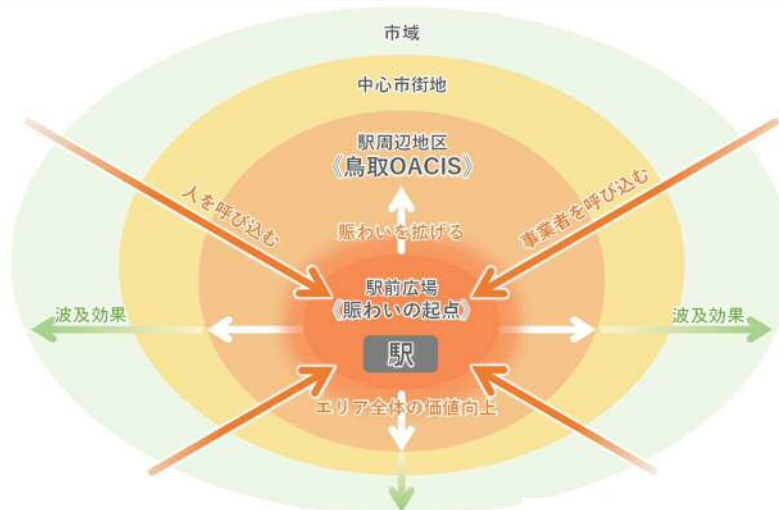
関連計画	駅周辺の位置付け
第11次鳥取市総合計画	「 <b>中心市街地</b> 」(中心拠点) 都市機能の集積とにぎわいと活力ある山陰東部圏域の中核市としての求心力を高めていく重要な拠点
鳥取市都市計画マスタープラン	「 <b>中心拠点</b> 」 鳥取駅周辺を含む中心市街地を、既に高度な都市機能が集積した中心拠点と位置づけ
第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画	「 <b>鳥取駅周辺地区</b> 」 山陰東部圏域の中心市の核として、鳥取駅を中心にさまざまな機能が集積する舞台



## 駅周辺地区再生の基本理念

### 人が集い 交流し 魅力あふれる街『鳥取OACIS』の創造

駅周辺地区では、市の広域交通の**起点 (Origin)** として**魅力的 (Attractive)** で人々が集い・**交流 (Communication)** が進み、また新時代に対応した各種**情報 (Information)** がますます集積する、**持続可能 (Sustainable)** なまちづくりをめざします。



図：鳥取 OACIS の概念図

[鳥取駅周辺再生基本構想 (第2期) より]